

Wart Laser

Q..しつこいウイルス性イボに対するお勧めの治療法を教えてください。日本では液体窒素で1週間に一度ほど焼いていましたが、完治までいきませんでした。原因は仕事が忙しすぎて液体窒素治療の予約を何度もキャンセルしてしまったためだと思いません。手軽に短時間でできる治療法はないでしょうか？

Dr.林の
足のお悩み
相談室

手軽に短期ならレーザー治療がお勧め

A..ウイルス性イボは手や足にできるイボで、子供から大人までよく見られる病気です。市販薬にはサルチル酸が入った絆創膏や塗り薬などがあります。

ひどくなつたイボは病院で削り、治るまで液体窒素で冷却治療が一般的です。この病気はウイルス（ヒトパピローマウイルス）感染が原因で、プールや公衆浴場などで人から感染します。家庭内感染もよくみられます。そのためきちんと完治することが非常に大切で、根気よく治療を続けることが必要です。

通院する時間的な余裕がない患者さまもおられます。また、子供の患者さまにとっては冷却治療が痛過ぎて、使用する冷却両

方の種類にもよりますが、30秒から90秒の冷却に耐えられないという難点もあります。

イボ治療の第一線は、真皮に傷がつかない窒素などの冷凍治療が一般的ですが、最近はいまザー治療もよく行われています。長所は1、2回で治療でき、治療自体は一瞬で終わるので痛みもありません。強度のレーザーで焼く場合は局部麻酔を使う必要がありますが、たいいては麻酔も必要としま

うことです。レーザー後のイボは黒くなつたりかざぶたになつたりしますが、その後1〜4週間がかざぶたが剥がれ完治します。冷却方法でイボが治らなかつたり、数回でイボ治療を終えたい方にはこの方法が適しているかもしれません。

写真私のオフィスで現在使用しているレーザーで、各々の症状によつて強さをマニュアルで自由に変えることができます。これなら痛がつたり怖がつたりして冷却治療のできないお子さまも安心して治療が受けられます。治療中は特殊のサンダラスを掛けて、目をレーザーから守る必要があります。

短所は熱が真皮まで伝わり、稀に傷が残ることがあるとい

（今回は5月19日号掲載）

療が痛過ぎて、使用する冷却両



（プロフィール）林美香（はやし みか） ニューヨーク足病医科大学卒業後、足病医学博士号を取得。聖ビンセント病院で足病医科・外科研修を修了、その後、ニューヨークの日系クリニックで足病専門医として勤務。2008年、マンハッタン初の日系足病専門クリニック、「林美香足病科クリニック」設立。（情報）林美香足病科クリニック 211 E 43rd St, Suite610 212-682-0043 www.mikahayashi.com